

報道機関各位

熊本大学

「日仏文化的景観保全国際シンポジウム『災害と風景, 営みの継承』」  
開催について

熊本大学熊本創生推進機構では、来る 5 月 26 日（土曜日）、阿蘇草原保全活動センター多目的会議室（阿蘇市）において「日仏文化的景観保全国際シンポジウム『災害と風景, 営みの継承』」を開催いたします。

今回のシンポジウムでは、日仏の景観や文化財・防災の専門家により、「災害と風景, 営みの継承」について考えるものです。特に「景観」や「文化財」、「防災」とは関係ないと思っておられる一般の方々へ広く参加を募集しております。

広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしく願いいたします。

記

【日 時】平成 30 年 5 月 26 日（土）13:30～16:30（受付 13:00～）

【場 所】阿蘇草原保全活動センター 多目的会議室

（住所：熊本県阿蘇市小里 656）

【対 象】一般の方および学生等（興味があるかたはどなたでも）

【参加費】無料

※詳しくは別紙チラシをご覧ください。

【お問い合わせ先】

熊本大学熊本創生推進機構

地域連携部門

担当：田中・長尾

TEL：096-342-2044

FAX：096-342-2042

Mail:naotot@kumamoto-u.ac.jp

# 日仏文化的景観保全国際交流シンポジウム（通訳あり） 「災害と風景，営みの継承」

日時：2018.5.26（土）13:30-16:30（受付13:00）

場所：阿蘇草原保全センター（多目的会議室）

〒869-2307 熊本県阿蘇市小里656

主催：熊本大学熊本創生推進機構 共催：風景デザイン研究会

後援：阿蘇世界文化遺産登録推進協議会，阿蘇郡市世界文化遺産登録事業推進協議会

参加無料  
座席数60

これまで草地の保全に取り組んできた阿蘇地域7市町村の草原景観が，平成29年10月に国の重要文化的景観に選定されました。文化的景観とは自然環境，歴史，生活・生業の面から，地域らしい固有な風景を価値づけ，それらを保全・継承していくための仕組みです。しかし阿蘇地域は，平成28年の熊本地震により，いまなお復興の真ただ中にあります。今回のシンポジウムは，地域住民や自治体職員の皆様，「景観」「文化財」「防災」とは関係ない，と思っておられる方々の参加をお待ちしております。なお本シンポジウムは，JSPS・CNRSの二国間交流事業共同研究/セミナー事業の一環として開催します。

**申込み・問合せ先** 代表者のお名前，ご所属，連絡先（電話番号），人数を，5/23（水）までに下記までお知らせください。  
田中尚人：熊本大学熊本創生推進機構 准教授 TEL&FAX (096)342-2040 e-mail : naotot@kumamoto-u.ac.jp

## プログラム：

### 第1部 基調講演

題目：「ピレネーにおける災害と風景の再生」

講師：セルジュ＝ブリフォー

（フランス国立建築造園高等技術者養成学校ボルドー校 教授）

### 第2部 パネルディスカッション

テーマ：「災害からの復興と文化的景観の役割」

登壇者：セルジュ＝ブリフォー（前掲）

シリル＝マルラン（フランス国立建築造園高等技術者養成学校ボルドー校 准教授）

鈴木 地平（文化庁文化財部記念物課 文化財調査官）

星野 裕司（熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授）

竹内 裕希子（熊本大学先端科学研究部 准教授）

司会者：田中 尚人（熊本大学熊本創生推進機構 准教授）